



佳生流选拔作品集

はじめのことば

いけばなは日本人の生活空間から必然的に生まれ発達してきた芸術ともいえます。

花と私たちとはいちばん親しい間柄ですからその常情が花を挿し、自分の心の友として身近にかざる。更に日常のおつきあいの中から花の個性を発見して、様々な姿に置き換え、より美しく身なりを調べ高雅な姿へと欲望を満たし、自らの美意識を向上させる。これがいけばなの本質のように私は思います。

五十周年のときにも記念の作品集をつくりましたが、その当時の作風は流花の新潮花が主流でそれなりの素晴らしい作品が、今でも生きていて何時の時代にも消滅することなく燦然と輝き続けている作品の尊さを感じるのであります。

今回の作品集は、私の近作と一門の作品を羅列したにすぎませんが、作品の良し悪しにかかわらず一言作者の言葉を添えているのが見どころです。

十年、二十年と佳生流の歩みのなかで、この作品集が皆さんの座右の銘として、創作のうえに役立てばこれ以上の幸せはございません。

昭和62年11月



佳生流華道家元 西村雲華

佳生流選抜作品集(Ⅲ)

昭和62年11月発行

¥6,000

発行者 西村雲華

発行所 佳生流華道家元

神戸市中央区野崎通3丁目3-21
TEL. (078) 221-6239

印刷 有限会社永代印刷

